

## フードロス&ウェイスト

当社グループは、サステナビリティに関する取組みのマテリアリティ(重要課題)の一つとして「フードロス&ウェイスト」に取り組んでいます。2024年度は、自助努力の活動に加え廃棄食品の有効活用を開始しました。

### 廃棄食品の有効活用

どうしても発生してしまう食品廃棄に関して、2024年度より一部の事業所にて食品廃棄物からバイオガス発電を行う産業廃棄物処理業者への切り替えを開始しました。

バイオガス発電とは、食品廃棄物や汚泥、家畜糞尿等の湿分の高い原料をメタン発酵によりバイオガスを発生させて、それを燃焼させることで生じた高圧の蒸気により、タービンを回転させて発電する方法のことを指します。

今後も、エリアごとに環境に配慮した処理方法を行う産業廃棄物処理業者との連携を深め、廃棄せざるを得ない食品の有効活用を進めてまいります。



▲食品由来の廃棄物等を原料としてメタン発酵を行い、発生したバイオガスを燃料にバイオガス専焼発電機で発電する仕組み

### 研修の実施

商品の発注担当者向けに、需要予測システムに関する研修を実施することにより、在庫管理レベルの向上を図り、滞留在庫や過剰在庫の削減に取り組んでいます。



### 成功事例の共有による取組みの強化

商品の仕入や在庫管理に責任を持つユニットマネージャーを対象とした会議において、各所属の現状の取組み内容・成功事例を共有し、その内容を踏まえた取組みの報告を行っています。



### フードドライブ

当社では、家庭で保管されたままになっている食べ物を持ち寄り、まとめてフードバンクに寄贈する「フードドライブ」を年に2回(4月・10月)実施しています。会社として実施しているフードバンク活動への協力だけでなく、従業員にも自ら参加していただくことで、食品ロスに対する意識を醸成することを目的としています。

集まった食品は、フードバンク関西様に寄贈し、その後福祉団体やこども食堂、ひとり親家庭等に無償で配布されています。

2021年度から本格的に開始し、従業員の食品ロスに対する意識が徐々に向上しています。

